

事業概要説明シート

事務事業番号 10501340001

事務事業名	基礎学力向上プロジェクト事業(教育指導課)		
事業開始年度	2007(H19)年度	担当部署	学校教育部 教育指導課

根拠法令	決裁
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託又は指定管理(委託先又は指定管理者:) <input type="checkbox"/> その他()
目的 (何のために)	小中学校における自学自習力支援システムの有効活用により、児童・生徒の学習意欲を高め、自学自習力を育むとともに、基礎学力の向上の定着を図る。
対象 (誰・何を対象に)	市立小中学校の児童・生徒
事業内容	市立小中学校全64校に、退職教員や地域人材等を各校2名程度配置し、個々の理解度に応じたプリント学習ができる自学自習力支援システムを活用して、放課後学習を行う。
類似事業	
事業の必要性	自学自習力支援システムの有効活用により、児童・生徒の学習意欲を高め、自学自習力を育むとともに、基礎学力の向上の定着をより一層図るために必要である。

コ ス ト		H23年度決算		H24年度決算		H25年度当初予算	
		従事職員数	概算人件費	従事職員数	概算人件費	従事職員数	概算人件費
正職員	0.80 人	6,472 千円	1.50 人	12,000 千円	1.50 人	11,859 千円	
再任用職員	0.00 人	0 千円	0.00 人	0 千円	0.00 人	0 千円	
非常勤職員等	0.27 人	467 千円	0.20 人	321 千円	0.00 人	0 千円	
人件費計(A)		6,939 千円		12,321 千円		11,859 千円	
直接経費(B)		15,632 千円		15,581 千円		20,454 千円	
総事業費(A+B)		22,571 千円		27,902 千円		32,313 千円	

財源内訳		H23年度決算		H24年度決算		H25年度当初予算	
国庫支出金	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円	
府支出金	7198 千円	7,359 千円	8,237 千円				
受益者負担 (使用料等)	0 千円	0 千円	0 千円				
その他	0 千円	0 千円	0 千円				
一般財源	15,373 千円	20,543 千円	24,076 千円				

平成24年度 事業費の主な内訳 (人件費除く)	内 容	金 額
	やる気ングリーダー報償費	15,287 千円
	保険料	294 千円
		千円

事業概要説明シート

事務事業番号 10501340001

事務事業名	基礎学力向上プロジェクト事業(教育指導課)		
事業開始年度	2007(H19)年度	担当部署	学校教育部 教育指導課

	活動指標もしくは成果指標	単位	H23年度	H24年度	H25年度(見込み)
活動実績	① 市立小中学校全64校のうち、自学自習力支援システムを活用した小中学校の率	%	100	100	100
	② 放課後自習教室への児童・生徒の参加延べ人数	人	77,840	81,533	81,000
	③				
単位当たりコスト (総事業費/活動指標)	① 総事業費/放課後自習教室への児童・生徒の参加延べ人数	円	290	342	399
	②				
	③				

成果目標 (目標とする成果)	・市立小中学校全64校において、放課後自習教室や授業等で、自学自習力支援システムを有効活用した学習活動に取り組む。				
-------------------	---	--	--	--	--

比較参考値 (他自治体での事業の例など)	大阪市「放課後ステップアップ事業」:児童の放課後学習の支援(週2日1回3時間程度、資格不問) 高槻市「再チャレンジ教室」:小中学校において宿題や自習の支援(週2回1回2時間、資格不問) 吹田市「小中学校放課後学習」:学生ボランティアによる小中学校による放課後学習の支援等 ※パソコンによる自学自習力支援システムを活用した取組は、本市のみ。				
-------------------------	--	--	--	--	--

特記事項	本市では、基礎学力を向上させるための取り組みの1つとして、放課後自習教室において、自学自習力支援システムを活用するとともに、退職教員や地域人材を配置することにより、児童生徒の自学自習力の向上を図っている。				
------	--	--	--	--	--

一次点検における事業の今後の方向性及び具体的な今後の取り組み方策(平成24年度)	現状のまま継続	小中学校において、朝学習、授業、放課後学習等における自学自習力支援システムの有効活用を継続する。
--	---------	--

一次評価結果(平成24年度)	各校の実施状況の検証と学力向上に関しての検証が必要では				
----------------	-----------------------------	--	--	--	--

二次点検における事業の今後の方向性及び具体的な今後の取り組み方策	現状のまま継続	平成22年度の効果測定では、調査結果の分析から、基礎・基本の定着が成果として確認できた。今後も小中学校において、朝学習、授業、放課後学習等における自学自習力支援システムの有効活用を継続する。なお、3年が経過した本年度、研究指定校において、効果検証を実施する。
----------------------------------	---------	---